

## 発行目的

創業者 石橋信夫は1955年の創業時から「世の中の役に立つ事業を行うこと」を信念として、半世紀にわたり社会に貢献する事業を通じて大和ハウスグループを成長させてきました。当社グループは、時代の要請をふまえて50周年の2005年を機に創業者精神・経営理念の象徴としてグループ共通のシンボル「エンドレスハート」を制定し、人が心豊かに生きる、サステナブルな社会の実現を目指した経営を行っています。

当社グループは、サステナブルな経営の実現に資するために、サステナビリティレポート2019（以下、本レポート）を3つの目的で発行します。

- ①説明責任の遂行：共創共生の姿勢を持つ企業グループとして、事業を通じた社会・環境への貢献と負荷低減について説明責任を果たします。
- ②適切な社外評価の獲得：企業評価機関、長期投資家、NGO、有識者等、企業のESG全般について特に関心の高いステークホルダー（利害関係者）からの要請をふまえた情報開示を行います。特に、企業評価機関のESG評価項目は「国際社会やステークホルダーの期待・要請を集約したもの」と捉え、適切な評価獲得を目指します。
- ③経営の改善への活用：経営におけるPDCAの「外部チェック」の一つとして、本レポートを基にした社外ESG評価や対話での指摘事項を活用し、改善につなげます。なお、本レポートはステークホルダーと関わりの深い主要な役員・環境担当役員、各部門長などの責任者へのインタビューのほか、各部門のサステナビリティ担当者が制作に携わっています。これら社内関係者にもESG評価結果を社内の主要な会議を通じてフィードバックしています。

## 誌面の構成・掲載内容

- ・本レポートの目次（Contents）にある各項目は、中期CSR計画（2016-2018年度）の重要課題と連動した構成となっています。
- ・2019年度より新たにスタートした社会性中期計画（P029）・環境行動計画（P149）を紹介するとともに「担当役員メッセージ」では、これらの計画においてステークホルダーとの関係構築や脱炭素の取り組みの推進について詳しく説明しています。

### 【経営の考え方と全体像 P001～022】

創業者精神、理念体系と中期計画を通じて、当社グループの事業とESGの関係性や、事業を通じた社会・環境への貢献について説明しています。

### 【実践報告ページ P029～181】

- ・事業を通じたステークホルダー（お客さま、従業員、取引先、地域市民、株主）との良好な関係の構築、地球環境への貢献、またこれらを支えるCSR経営の基盤について報告しています。
- ・冒頭に各担当役員メッセージを掲載しています。特に、各ステークホルダーとの信頼関係構築や、環境への取り組みが、当社グループの経営とサステナブルな社会の構築に重要であることを詳しく説明しています。
- ・重要課題に対するマネジメントアプローチを説明するため、重要課題ごとに「基本方針・考え方」、「マネジメント」、「主な取り組み」を整理し、体系的に報告しています。

### 【外部評価・データ集 P182～238】

中期CSR計画の管理指標であるCSR自己評価指標のほか、外部評価、社会・環境の詳細データを掲載しています。

## 報告媒体

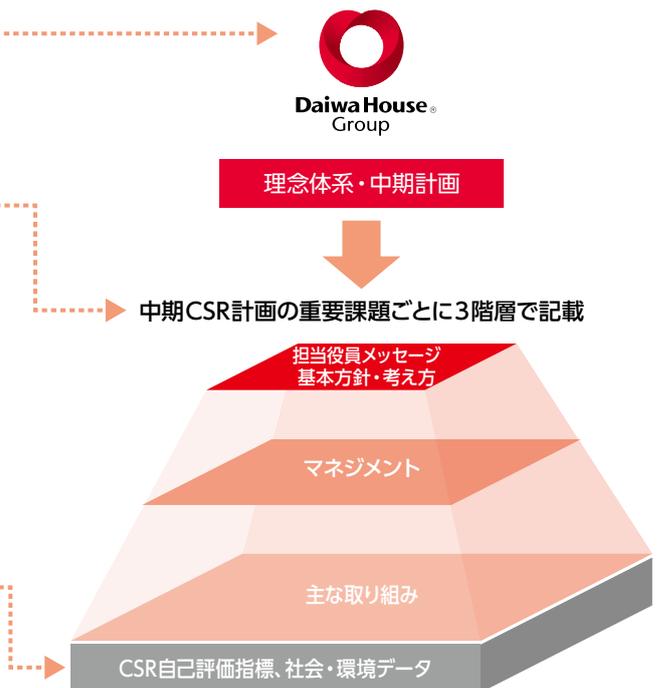
サステナビリティレポートは、＜日本語版＞と＜英語版＞を発行しています。

## 想定している読者対象

企業評価機関、長期投資家、NGO、有識者等を主たる読者対象とし、お客さま、取引先、従業員、地域市民（NPO含む）、株主、行政などの幅広いステークホルダーを対象としています。

## 報告対象組織

大和ハウス工業を中心に大和ハウスグループ全体（2019年3月31日現在、連結子会社340社、非連結子会社2社、持分法適用関連会社42社および持分非適用関連会社2社）について報告しています。



## 報告対象期間

2018年度（2018年4月1日～2019年3月31日）を基本として、必要に応じて2018年度以前・2019年度以降の活動内容も掲載しています。

## 参考にしたガイドライン

「GRI (Global Reporting Initiative) サステナビリティ・レポートング・スタンダード」、国際標準化機構「ISO26000」、環境省「環境報告ガイドライン（2018年度版）」、IIRC「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省「価値協創ガイダンス」

## 発行日 2019年7月（次回発行予定：2020年7月）

# 目次 (Contents)

中期CSR計画の重要課題・最重要課題にあたる項目に「●」をつけています。

## 経営の考え方と全体像

### ■ 創業者精神に基づく事業の考え方

大和ハウスグループの原点	001
会社概要	005
会長メッセージ	007
社長メッセージ	011

### ■ 経営を推進するしくみ

創業者精神を軸とした経営ビジョンの実現	015
経営ビジョン実現のための中期計画	017
大和ハウスグループのマテリアリティ (重要課題)	019
バリューチェーンにおける社会性中期計画	021
環境行動計画の重要課題	

### ■ 特集

大和ハウスグループが目指す「まちづくり」	023
----------------------	-----

## 実践報告

社会性中期計画(エンドレス ソーシャル プログラム)	029
----------------------------	-----

### ■ CSR経営の基盤

担当役員メッセージ	037
コーポレートガバナンス	041
人権マネジメント	046
リスクマネジメント	052
企業倫理・コンプライアンス	058
腐敗防止・公正な取引	060
知的財産のマネジメント	062
CSRマネジメント	063

### ■ お客さまとの共創共生

担当役員メッセージ	067
高品質な商品の提供●	071
お客さまとの適切なコミュニケーション●	076
長期にわたる信頼獲得に向けた取り組み●	079
社会課題を解決する事業・持続可能な消費	080

### ■ 従業員との共創共生

担当役員メッセージ	085
安全かつ健康的に働くことのできる職場●	089
人財の育成●	092
多様な従業員が柔軟に働ける職場づくり●	095
優秀な人財に対する雇用機会の提供●	098

### ■ 取引先との共創共生

担当役員メッセージ	101
公正な競争●	105
CSRの取り組みにおける取引先への働きかけ●	106
施工会社における労働条件の改善と人財の確保●	109

### ■ 地域市民との共創共生

担当役員メッセージ	113
事業を通じたコミュニティ発展の支援	117
地域共生活動●	125

### ■ 株主との共創共生

担当役員メッセージ	133
中長期的な株主価値向上とIR活動	137

### ■ 環境との共創共生

担当役員メッセージ	141
環境長期ビジョン	144
環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム)	147
環境マネジメント	151
サプライチェーンマネジメント(環境)	153
地球温暖化防止(エネルギー・気候変動)●	155
自然環境との調和(生物多様性保全)●	165
資源保護(長寿命化・廃棄物削減・水資源保護)●	171
化学物質による汚染の防止●	177
環境コミュニケーション	181

## 外部評価・データ集

### ■ 外部との協働・外部からの評価

外部との協働	183
外部からの評価(2018年度実績)	184
主な表彰など(環境)	185
主な表彰など(社会)	186
グループ会社の表彰・評価	187
ESGインデックス組み入れ状況	189

### ■ データ集

大和ハウスグループの概要(組織図・業績ハイライト等)	191
企業倫理綱領および行動規範	195
まちづくりビジョン	197
CSR調達ガイドライン	198
CSR自己評価指標	201
環境データ	207
サイトレポート	233
第三者意見	239
第三者保証報告書	241
GRIスタンダード 対照表	243
用語集	261

当レポートに掲載しているCO<sub>2</sub>情報等について、第三者保証を受けており、その対象となる情報については、各項目に☑を記載しています。(第三者保証報告書はP241に掲載)